

第 13 回 運営推進会議 議事録

令和 4 年 9 月 No.1

事業所名	デイサービスセンター「すみよし」
開催日時	令和 4 年 9 月
開催場所	今回は第 13 回運営推進会議の内容を各参加者に閲覧していただき、意見を集約した。
参加者	利用者 1 名 知見を有する者 1 名 利用者家族 1 名 地域包括支援センター 1 名 地域住民の代表 1 名
議題	1 運営推進会議の目的 2 運営状況 3 事故報告 4 主な活動 5 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対する取り組み 6 熱中症対策に対する取り組み 7 運営委員からの評価
会 議 録	
1 運営推進会議の目的 地域に開かれたサービスや、介護保険サービスの質の確保を図ることを目的とし、利用者様やその家族、地域住民の代表などに、提供している介護サービスの内容を明らかにします。出席者の皆様にはサービスの内容の報告に対して意見を頂いたり、事業所に対する要望や助言等忌憚のないご意見を頂いたりする。 2 運営状況 (1) 利用定員 午前・午後各 13 名の半日型デイサービス。1 日利用者平均人数 午前 7 名、午後 7 名 (2) 提供時間 3 時間 5 分 (午前 9 : 10～12 : 15 午後 13 : 10～16 : 15) (半日型・機能訓練特化型・入浴、昼食対応可能) (3) 利用者の状況(令和 4 年 8 月 31 日現在) 利用者人数:49 (男性 17 名・女性 32 名) 利用休み中 3 名 対象者 要支援 1: 1 名 要支援 2: 0 名 要介護 1: 9 名 要介護 2: 22 名 要介護 3: 13 名 要介護 4: 3 名 要介護 5: 1 名 ※コロナ感染拡大に伴い、利用を自粛されるご利用者様があり、利用数減少の一因となっている。 利用者の契約者人数は前回より増えているものの、入院やショートステイ入所などの様々な理由によりお休みが続いている方や、ワクチン接種や、受診、体調不良などでお休みされる方もおり、利用回数が伸びていない。 考察として、半日型デイサービスのご利用者様は比較的身体機能が良好で、尚且つご自分の意志がはっきりしている方が多い。事業所としてはコロナ対策を引き続き実践し、安全な環境作りを継続していく。 (4) 加算 個別機能訓練加算Ⅰ1 または 2 入浴加算 (希望者のみ) 口腔機能向上加算Ⅰ 中重度者ケア体制強化加算 処遇改善加算Ⅰ 介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ	

3 事故報告 0 件

※事故やヒヤリハットが発生した際には、関係機関に報告を行うとともに、発生した日のうちに職員間でミーティングによる原因対策等の話し合いを行い、再発防止に努める。

4 主な活動

- ・機能訓練指導員による個別機能訓練、ご利用者様のレベルに合わせた脳トレの実施。

- ・口腔機能向上サービスの実施 月 2 回

(コマキ歯科の医師、歯科衛生士の助言を受け、デイサービス看護師による指導)

- ・2020 年 2 月にスタートして以降、誤嚥性肺炎による入院は 1 名のみ

※口腔機能向上に関する情報提供、口腔体操、嚥下体操、歯磨き支援などの口腔ケアの実施。半年に一度、口腔機能検査を実施し、口腔機能低下症から向上が見られたご利用者様は卒業となり、その後半年に一度の検査により維持がされているか確認を行う。7 月に実施した検査では、卒業した 1 名が約 1 か月半入院の後、残念ながら再び低下症の診断が出てしまい、口腔ケアや訓練を受けていただくことになった。口腔内の清潔や機能の向上により、誤嚥性肺炎や心疾患、歯周病からくる認知症など、身体全体の健康に影響すると言われている。今後も口腔機能向上に向けて活動を継続していく。

- ・手指の機能訓練として、季節に合わせた展示物の作成

桜、つつじ、朝顔などの貼り絵、色塗り、折り紙など

- ・外出レク

4 月、5 月、7 月にコロナ感染防止を配慮しての外出レクリエーションの実施。

善光寺参り、日吉神社、小瀬へ桜見物、桜町商店街へ出品した七夕飾り見物、ドライブなど

- ・日常のレク活動について

みんなで取り組める脳トレの希望が多く、ホワイトボードを活用してクイズやなぞなぞ、とんち問題などを行い、意欲的に取り組んでいる。

- ・避難訓練

R4 年 6 月 7 日 15:30～ 震度 6 地震発生、その後火災発生を想定した訓練を実施予定。

5 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対する取り組み

- ・ご利用者様にはお迎え時、デイに到着時に検温をする。

(37.5℃以上)が見られた場合には来所を控えていただく。

- ・職員もご利用者様同様、毎日 2 回の検温、発熱が認められた場合には出勤停止とする。

- ・職員は感染予防に努め、不要不急の外出を控える。

- ・手洗い、うがいの徹底。

- ・サービス時間中の職員、ご利用者様全員のマスク着用を徹底。マスクを外してしまうご利用者様には声掛けをして着用を徹底する。

- ・職員の入浴介助時のフェイスシールド・マウスシールド使用。

- ・定期的な部屋の換気 (30 分に 1 回または 1 時間ごとに時間を決めて 5～10 分) を行う。

- ・室内の消毒。

(椅子・テーブル・テーブルの淵・手すり・水回り・平行棒・ドアノブ他)

- ・会話に伴う飛沫感染防止のためのアクリル板を設置。
- ・座席の工夫による感染防止。
- ・送迎車の送迎前後の消毒（ドア・ハンドル・手すり・シート等）
- ・コロナワクチン4回目接種を職員全員が9月末までに接種完了予定

※第7波による介護施設のクラスターが多く発生し、当社のデイサービスや訪問介護、居宅介護支援事業所などでも、感染が発生しており、感染者の自宅での療養、隔離、職員やご利用者様の抗原検査の実施など、徹底した。

6 熱中症対策に対する取り組み

- ・経口補水液やゼリーを常備し、バイタル測定により体温上昇や血圧の上昇、体調不良など水分不足が疑われる場合にはすぐに水分補給を行い、体調確認を継続します。
- ・ご自宅でも定期的に水分摂取、適切に冷房を使用していただくよう声かけをする。

7 運営委員からの評価

（ご利用者様）

デイサービスに大分慣れました。お風呂もとても良いです。お風呂のお姉さんが話をしながらやさしくやってくれます。仲間の人達も顔見知りでお話をしたり楽しいです。訓練も私に合ったようにやってくれているので良いです。

（ご利用者家族）

お世話になります。とりたてて要望等はありません。母は毎回デイサービスセンターでのみなさんの笑顔を楽しみにしています。

また耳が少し遠くなっていますので、ゆっくりと耳元で会話をしていただければと思います。
よろしく願いいたします。

（地域包括支援センター）

各事業所、新型コロナウイルス感染対策に奔走しています。厚労省が定めるガイドライン以上の徹底を行い、感染者の拡大や持ち込みを防止している状況にあります。

しかし、ある施設では「感染対策の長期化により慣れが生じてしまい、一部の職員の対策が疎かになっている場面がある。」と報告されています。その中では、過度な徹底や指導は、職員のモチベーションや不安、不満につながり、運営課題として難しい判断を求められるとの意見を聴取しています。以前にも紹介した、メンタルケアにも意識した運営をお願いいたします。

（地域住民の代表）

自治会長としての経験がまだ浅いため、福祉施設のことについてよくわからなかったのですが、資料を拝見し、デイサービスのことがわかりやすく勉強になりました。保育園などと同様、避難訓練を定期的に

行っていることがわかり安心しました。コロナ感染対策もしっかり実施していますね。

自治会の活動は、昨年と同様お祭りごとは全て中止となっています。コロナが終息した際には地域との関わりを持てると良いと思います。

(知見を有する者)

資料の内容がわかりやすく良かったと思います。半日で入浴、機能訓練、昼食ありは他にはなく、とても良いと思います。

希望に合う方がいたらぜひ紹介させていただきたいと思います。

※次回 運営推進会議開催時期 令和5年3月頃予定。

コロナ感染拡大状況を見ながら開催方法を検討する。状況が改善傾向であれば、ソーシャルデスタンスを保ちながら対面による会議を開催する予定。